

保険業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	8~9	会社への出勤途中、敷地内駐車場の車止めにつまずいて転倒した。同僚に話しかけられ足元をよく見ていなかった。	55	300~499
4	11~12	飛び込み募集活動中、溝に気がつかず足がはまり転倒し、右足首、左腕、左足ももを打撲した。	46	50~99
7	16~17	機械室を訪問して窓口通路を歩いていた際段差でバランスを崩して転倒したものである。	56	100~299
10	12~13	駐車場の外壁が前日の強風でこわれていたのを修理するため、外壁の外側へまわり修理した。（トタン後部分）その際、外壁をのぼり外側へ。修理後駐車場内へもどる時に外壁をのぼり着地したところ、被災した。	51	300~499
11	13~14	約束のお客様宅を退出する際の事故。靴を履くため左足を土間に下ろそうとしたところ、上がり框に指が曲がった状態でぶつめた。左足中指骨折となった。	56	300~499
11	0~1	職域活動の後の研修にバスで向かうためバス停に向かって東側歩道を南に向いて走っていたところ、交差点の手前で雨に濡れたいちょうの落葉で滑り仰向けに転倒した。その際臀部と腰部を強打し負傷した。	50	500~999
12	16~17	業務で郵便局に郵便物を出しに行った際、道路の端を歩行中、張っていたロープに躓き転倒した。転倒時に、路面に左膝を強打して受傷し、救急搬送された。	51	30~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html